

フィジカル AI を巡る世界主要 25 社の戦略

～特許から炙り出す産業ロボ、ヒューマノイド、自動運転の開発競争～

— 講師 — 株式会社知財ランドスケープ 代表取締役社長 CEO
弁理士 AIPE 認定 シニア知的財産アナリスト 山内 明 氏

日 時 2026 年 5 月 29 日 (金) 午後 2 時～4 時
受講方法 ライブ配信/アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)

[重点講義内容]

生成 AI の目覚ましい進化を受けて日増しに話題となるのがフィジカル AI、すなわち身体を備えた AI だ。

今年初め、テック系最大イベントと表される CES2026 の基調講演において、Nvidia CEO のジェンソン・フアンはフィジカル AI はもはや人類に必須のインフラであると語った。自動車業界では米 Waymo や米 Tesla による完全自動運転車たるロボタクシーが連日報道され、中国では恒例の年越し番組で報じられたヒューマノイドの華麗な舞いの動画再生回数が 230 億回にも達する等、EV に続くヒューマノイドバブルとなっている。それらとは対照的に、同じくフィジカル AI の対象ながら産業用ロボットは話題性に欠け、世界シェアの大半を占める日本勢の存在感も乏しい。

講師の知る限り、これら産業用ロボット、ヒューマノイドおよび自動運転車の 3 分野を網羅的に分析したもの、特に客観的かつ信憑性に富むデータに基づいて分析したものは殆ど見当たらず、これら 3 分野間の温度差を招来しているといえよう。そこで本講座では、これら 3 分野に焦点を当てつつ客観公平性に富む特許情報を起点とした分析(IP ランドスケープ)を行い、フィジカル AI 主要各社の最新動向や競争戦略を炙り出して紹介することとした。

1. フィジカル AI とは

- (1) [I] 産業用ロボット [II] ヒューマノイド [III] 自動運転車の 3 分野が主役
3 分野の母集団設定、各分野の主要プレイヤーの顔触れ俯瞰

2. [I] 産業用ロボット分析編

- (2) Google の開発取組とプラットフォーム戦略
(3) ファナックによるプリファードネットワークスとの協働取組と課題解決志向
(4) 川崎重工業による課題解決志向 (5) Intrinsic (Google 系) の開発取組と Google グループとしての総合力発揮
(6) オムロンによる差別化戦略 (7) KUKA によるデジタルツイン戦略
(8) Nvidia による汎用ロボット開発基盤戦略とエコシステム

3. [II] ヒューマノイド分析編

- (9) UBTECH による上場専業としての実力と戦略 (10) Fourier による手先の器用さへの傾注と戦略
(11) Agibot によるハード面での差別化戦略 (12) Boston Dynamics による作業工代替戦略
(13) SANCTUARY AI による手先の器用さへの傾注と戦略
(14) Xiami/Xiaopeng による自動車業界の人手不足解消策としてのヒューマノイド開発取組
(15) Tesla による EV 開発手法転用とシナジ最大化戦略 (16) Nvidia によるプラットフォーム戦略

4. [III] 自動運転車分析編

- (17) Baidu によるロボタクシーの強みの源泉 (18) Zoox によるモデルベースから E2E 自動運転への移行取組
(19) トヨタ自動車による E2E 自動運転を支えるオープンバイトヨタの取組
(20) Bosch によるモジュール式 E2E の取組
(21) Waymo によるマルチモーダル×VLA の取組、Gemini とのシナジ最大化戦略
(22) Aurora による Waymo に追随した取組 (23) ホンダによる E2E 自動運転を支える HRI の取組
(24) Nvidia によるユーザ利便性最大化/エコシステム強化戦略
(25) Hyundai motor による傘下 Motional とのシナジ最大化/挽回戦略
(26) Intel による傘下 Mobileye とのシナジ最大化/Tier1 化戦略
(27) HUAWEI による米中デカップリングに屈しないプラットフォーム戦略
(28) Tesla による EV/ヒューマノイドを同一知能で動かす世界観と実現可能性

5. 3 分野分析結果のまとめと考察

- (29) 3 分野分析結果のまとめと最注目プレイヤーの特定 (30) プラットフォームとしての Nvidia の立ち位置と戦略
(31) プラットフォームとしての Google の立ち位置と戦略 (32) 独自世界観で覇権を狙う Tesla の立ち位置と戦略

6. 質疑応答

PROFILE 山内 明(やまうち あきら)氏

大学、大学院では機械制御工学を専攻し、大手メーカーでの開発業務、大手特許事務所での特許出願権利化業務、商社系知財戦略ベンチャーやシンクタンクでの知財コンサルティングの業務に従事する。シンクタンク時代に IP ランドスケープ実践に役立つ知財情報戦略を確立し、互教の精神で啓発活動と手法改良に努める。現在は、IP ランドスケープ専門の(株)知財ランドスケープの代表を務めつつ、最新手法 IP ランドスケープ 4.0(生成 AI 活用序章)実践によるビジネスコンサルティングに取り組んでいる。2019 年には JAPIO 理事長賞(活用研究功労者)を受賞。近著:「EV 未来予測 世界 5 社の開発戦略」(2024 年、日経 BP 社)、「知財から予測する未来技術-テスラ編-」(2025 年、日経 BP 社)

Table with 2 columns: Item (e.g., 受講料, お申込方法) and Description (e.g., 各受講方法 1名につき 34,320円(税込)).

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。
■ライブ配信について
■アーカイブ配信について

Form header: 5月29日(金) 「フィジカル AI を巡る世界主要 25 社の戦略」 申込日 月 日
貴社名
所在地

いずれかの口に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

Form section 1: Includes checkboxes for Live and Archive streaming, and fields for Name, Department, TEL, FAX, and E-mail.

いずれかの口に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

Form section 2: Identical to section 1, for a second registration entry.

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。 K

Form section 3: 通信欄 (Communication field)

●E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)をを進呈いたします]
□セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851



〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26257-I